

## オオムギ赤かび病に注意しましょう！

赤かび病による被害粒が10,000粒中に5粒以上混入すると出荷停止になります。赤かび病はムギの開花期頃に気温が高く、雨が続きと多発します。今年の4～5月の**気温は高く、赤かび病多発の恐れ**があります。

### 1 防除時期

●本年は、オオムギの**生育が大幅に早く**なっています。  
1回目の防除が遅れないように準備をしましょう。

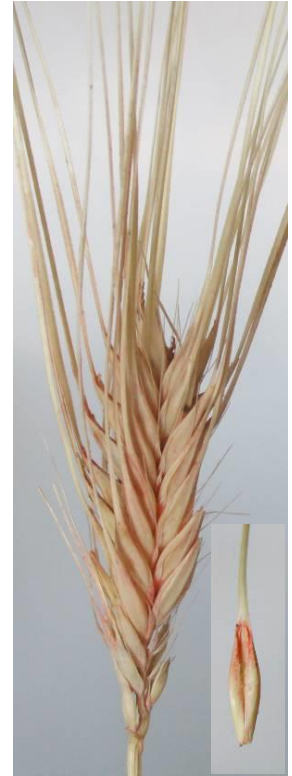
**1回目は開花始め（出穂5日後ころ）**  
**2回目は1回目の10日後です。**

- 圃場をこまめに巡回しムギの開花状況を確認し、適期防除を行いましょう。
- 感染後は効果が劣るので予防防除に努めましょう。
- 液剤のほうが粉剤より効果が高くなります。
- 積雪が少ない年は、出穂・開花がばらつくため、防除適期があいまいになり、結果的に赤かびの発生が多くなってしまいます。  
大麦は2回防除、小麦は3回防除を徹底しましょう。

【液剤の散布量は10a当たり100L散布します（無人ヘリ散布を除く）。粉剤は穂が濡れている早朝に散布すると効果が高くなります。】

※1回目の防除適期は平野部で4月15日前後、山間部では4月19日前後と思われませんが、地域や今後の気候で変わります。くわしくは管内の農林総合事務所やJAにお尋ねください。

### 2 防除薬剤



農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しましょう

薬剤名	登録作物	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数	散布方法
トップジンM粉剤DL	麦類（小麦を除く）	1000～1500倍	4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内（出穂期以降は1回以内）	散布
トップジンM水和剤			60～150L/10a	収穫30日前まで		散布
トップジンMゾル			無人ヘリ8倍	0.8L/10a		収穫21日前まで
トリフミン水和剤	麦類	1000～2000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
ストロビーフロアブル	麦類（小麦を除く）	2000～3000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
チルト乳剤25	大麦	1000～2000倍	60～150L/10a	収穫21日前まで	1回以内	散布
		無人ヘリ8倍	0.8L/10a	収穫21日前まで	1回以内	無人航空機による散布
ワークアップ粉剤DL	麦類		3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布
ワークアップフロアブル	大麦	無人ヘリ10～16倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布
シルバキュアフロアブル	大麦	2000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布
		無人ヘリ16倍	0.8L/10a	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機による散布

☆最新の農薬登録情報(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vt11p301.jsp>)を確認して下さい。